



フィンランド式
わくわく子育て特別レッスン

5つの魔法の言葉
水橋 史希子

フィンランドエデュケーション協会
Copyright ©Finland education association All Rights Reserved.

<著作権について>

- ・メールマガジンで提供する文章、写真、映像、音声等のすべての著作物、肖像、キャラクター、マーク、その他の情報に関する一切の権利（所有権、知的財産権、肖像権、パブリシティー権等）は、当社もしくは当該権利を有する情報提供元に帰属します。
- ・著作権法で定められた私的利用の範囲を超える複製・転写等を行うことは出来ません。権利者の許可なく、所有権、著作権を含む一切の知的財産権、肖像権、パブリシティー権等、コンテンツ素材に関する全ての権利を侵害する一切の行為をしてはならないものとします。

フィンランドエデュケーション協会 運営：グロリアタイム株式会社



目次

1 自己紹介	3
2 フィンランド教育について	8
3 フィンランド教育に注目する3つの理由	14
4 日本の現状と課題	30
5 フィンランド式子育て3つのポイント	36
6 子どもの自立を促す5つの魔法の言葉	43
7 さいごに	55



1 自己紹介

長野県松本市出身

●子ども時代

中学生までは親の期待通りのクラスで発言しないおとなしい子どもでした。
高校生のころ、自我の目覚めとともに田舎を脱出して憧れの東京に住みたい、早く自立したい、その一心で上京しました。

●上京して

「子どもが好きだから」、という理由で短大の幼児教育科に進みました。
発達心理学を学び、人が生まれてから死を迎えるまでの内面の成長過程に興味を持ちました。

●就職

人に関わる仕事をしたいと思うようになり、航空会社の客室乗務員になることができました。
「仕事」面は充実していましたが、プライベート面の「結婚」はうまくいきませんでした。

自己紹介



2015年4月出版

「雑談力がアップするひと言の魔法」
ぱる出版

自己紹介

●結婚の失敗と子どもがいないこと

年下だった結婚相手の多額の借金が原因で裁判に3年間もかかり、ようやく離婚が成立しました。

その頃は先の見えないトンネルの中にいる暗い気分で仕事だけが心の支えでした。

残念ながらずーっと欲しかった子どもには恵まれませんでした。

子どもがいない＝女性として欠けているのではないか、という自分を否定する気持ちと戦いながら客室乗務員の仕事をがんばっていました。

26年間勤務し、一度も病欠を取ることもなく、客室乗務員としてお客さまやチームのメンバーのために、独自に工夫したコミュニケーション方法を実践しました。

●CAの仕事から独立起業の道へ

仕事は充実していましたが、定年までフライトし続けるのは体力的に厳しいと考え、2011年に独立起業しました。

フライトで培った現場経験を活かし、独立後、5年間で2000人以上の方に研修、講演を行ってきました。



自己紹介

●コミュニケーション力は生きる力の基礎

研修を行ってコミュニケーション力がアップすると、みなさん表情が明るくなり、イキイキと輝きます。その表情の変化に私自身も喜びを感じます。人生の多くの悩みは人との関係性＝対人コミュニケーションです。人とうまくコミュニケーションできれば多くの悩みは解決できます。友達、仕事、家族、などすべて人間関係で成り立っています。

●子どもの頃からコミュニケーション教育を

様々な企業で研修を行っていくうちに、人生に大きく影響するコミュニケーション力は大人になってから学ぶより、子どものときから学んだほうがもっと楽に人と関わる喜びを感じながら生きられるのではないかと考えるようになりました。

●フィンランドで行われているコミュニケーション教育

海外ではコミュニケーションを教えているのかもしれない、といろいろと情報を集めました。

すると、フィンランドでは小学校の国語の授業でコミュニケーション教育を行っていることがわかりました。

自己紹介

●ヘルシンキ郊外、ヴェイツコラ校視察
ある総合学校とご縁ができ、授業の視察や、
情報共有をしています。

ありがたいことに、
「日本のみなさんのお役に立てるなら」と
フィンランドの先生方や現地で子育てしている
パパ、ママたちに直接ヒアリングさせていただく
機会を継続的に提供していただいています。

塾もなく、競争させることもない人口540万人の
小さな国フィンランドは、いったいどのような
子育て、教育をしているのか、
その現地からの情報をお伝えします。

日本で少し迷いながら子育てをがんばっているママたち
学校で子どもたちを教えている先生方、またフィンランド人の考え方や生き
方に興味がある方にもお役に立てるととても嬉しいです。



ロムス校長と

願いは地球平和

地球の未来を創る日本の子どもたちを
サポートする100年計画の一步です！





2 フィンランド教育について

塾も受験もない国フィンランドでは…



Copyright ©Finland education society All Rights Reserved.

学ぶことを楽しめるように
大人たちが勇気づけた結果
成績が世界一になりました



フィンランド共和国の歴史

12世紀 スウェーデンにより650年間支配

19世紀 帝政ロシアとの戦いにより、
ロシアの支配下

1917年 ロシア革命により悲願の独立

．．．．

1970～91年 国家教育委員長により
教育改革

20年かけて行われた教育改革

- 行政機関では若い担当者が部門長に就任
- 中央集権的な教育⇒地方分権・現場裁量
- 教育無償化
- 義務教育を9年生の基礎学校に
- 教科書検定廃止

※現在も現場で教育は進化を続けています。

フィンランド式教育、子育て = 自主性と強みを伸ばすこと

- 子どもたちは、大人のようにルールを理解し、自主的に学ぶ力を持っています。
- フィンランドの教育現場では、ルールを守るためのサポートをし、ゲーム感覚で学びのモチベーションをあげて習慣化させています。
- その基礎ができれば、子どもは自主的に行動します。その上で勇気づけの言葉をかければ、「ヤル気スイッチ」はどんどん入っていくのです。



3 フィンランド教育に注目する 3つの理由

フィンランド教育に注目する 3つの理由

その1

フィンランド人は
日本人と同じ気質を持っている

フィンランド人もシャイで真面目



フィンランド人もシャイ

北欧3国（ノルウェー、フィンランド、スウェーデン）の中でもフィンランド人だけが、シャイで、真面目でちょっと伏し目がちな気質を持っています。

EUに加盟した国際会議でも「おとなしい」、と思われたと言われるほど、主張しない控えめな人たちです。でも、街中で地図を広げると気軽に声をかけてくれるような優しさを持っています。

アメリカ人など社交的で主張することを常に求められる国の教育より日本人に近い国民性を持つフィンランド人の教育のほうが日本にも応用しやすいと考えられます。



同じ気質を持っているからヒントになる

教育、子育ては

国の文化や気質に影響しています。

だから応用するには気質が似ているほうが結果が出やすいのです。



フィンランド教育に注目する 3つの理由

その2

2020年改訂になる

日本の学習指導要領内容を

すでに行っている

日本の先を行くフィンランド教育

8割の授業はアクティブラーニング型
=子ども主体のグループ学習



自立する力 = 生きる力

日本は、受験のための教育が必要ですが
受験や学習塾がないフィンランドでは
生きるための教育をしています。

小学校低学年で行われているのは
コミュニケーション力の育成です。

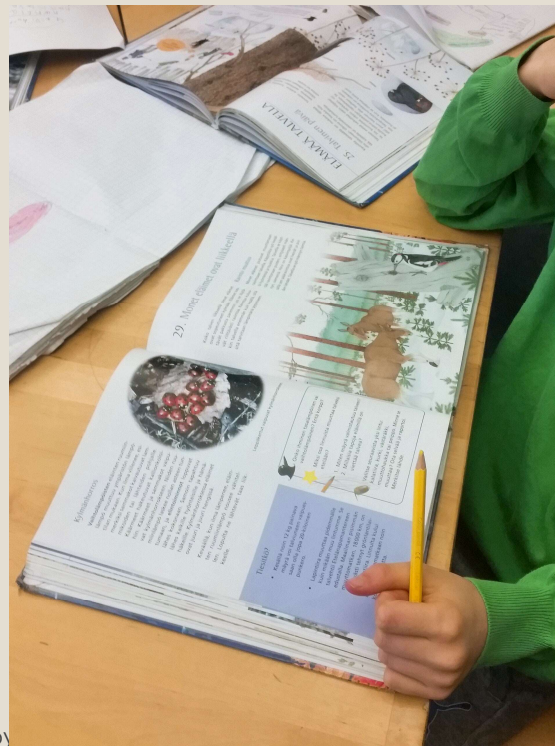
他者との対話ができるか、
自分を客観視できるか
自分の考えを伝える力 = プレゼンテーション力
などに力を入れています。

日本の先を行くフィンランド教育 対人コミュニケーション力育成



日本の先を行くフィンランド教育

論理的思考・読解力育成
カルタ＝マインドマップ活用

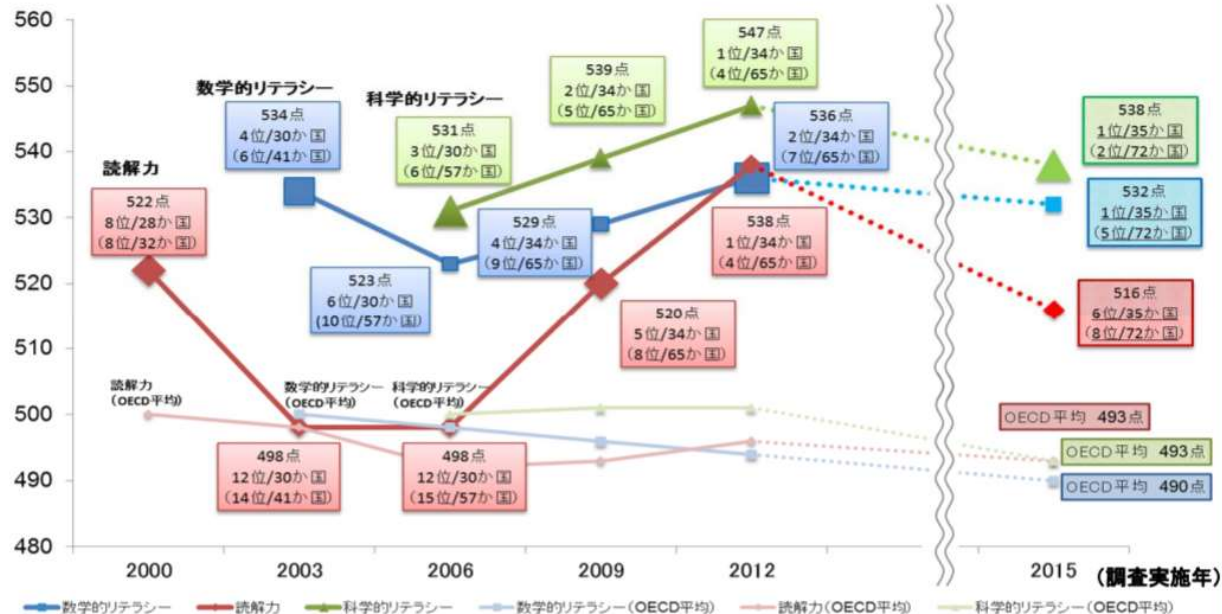


日本の子どもは読解力が低い 2015年PISAテスト結果

平均得点及び順位の推移

※各リテラシーが初めて中心分野となった回(読解力は2000年、数学的リテラシーは2003年、科学的リテラシーは2006年)のOECD平均500点を基準値として、得点を換算。数学的リテラシー、科学的リテラシーは経年比較可能な調査回以降の結果を掲載。中心分野の年はマークを大きくしている。
※2015年調査はコンピュータ使用型調査への移行に伴い、尺度化・得点化の方法の変更等があったため、2012年と2015年の間には波線を表示している。

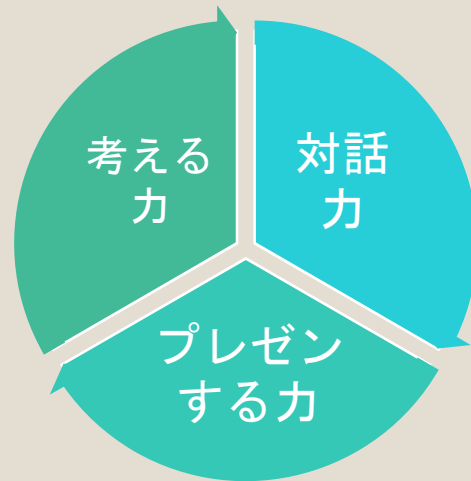
(平均得点)



日本の子どもたちは要点把握力や 考える力が不足

今までの知識重視型教育では、情報を与えられて答を覚えることをさせてきました。

これからは、子どもたちが自分の考えを持ち、それを他者との対話によって共有し、伝える力（プレゼンテーション）が求められます。



生きる力につながる起業家精神教育

TEEMA 5:
PUHUTAAN RAHASTA

Tällä kerralla mietit myytävälle tuotteelle tai palvelulle sopivan hinnan ja teet hinnaston sekä mainokset.

PIKKUYRITTÄJÄN TIETOPANKKI
Tuotteelle ja palvelulle pitää asettaa hinta. Yrittäjän on mietittävä miten toiminnasta tulisi kannattavaa. Vaikka pikkuyrityksen luotteiden ja palveluiden hinnat eivät välttämättä pohjautu todelliseen kannattavuuteen on hyvä kuitenkin pohtia hintojen muodostumista.

HINNASTOA HIOMAAN:
Miettikää yhdessä opettajan johdolla miten tuotteen tai palvelun hinta muodostuu.

MITÄ MAKSAA?
Pohtikaa ryhmässä kuinka paljon valmistatte tuotteita. Miettikää yhdessä miten ja kuinka paljon palvelua voitte myydä. Miettikää kuinka paljon teillä kuluu rahaa raaka-aineiden tai materiaalien hankintoihin. Sopikaa ryhmänne itsällä kuka ostaa ja mitä?
Jos yrityksenne tarjoaa palveluita miettikää kuinka paljon teillä kuluu rahaa palvelun tuottamiseen. Esimerkiksi jumppatunnin pitäminen vanhuksille on ilmaista, mutta matkustaminen vanhainkotiin maksaa ainakin bussilipun verran.

VOITTO

TAPPIO

16

起業も選択肢のひとつ

21世紀は、テクノロジーが大きく進化する時代です。

電話ひとつとってみるとわたしたちが生きているこの時代に大きく進化しました。

固定電話⇒ポケベル⇒ガラケー⇒スマホ⇒？

子どもたちが大人になる頃には、今ある職業の多くはなくなると言われています。

会社に入れば生きていける、時代ではなくなっていくとき、起業という選択肢があることを知っていれば、新しい発想力を生かして社会を変えていくこともできます。

フィンランドでは、保育園から社会のしくみや起業に必要な知識、情報を伝え、身近なものとしてとらえられるようにしています。

フィンランド教育に注目する 3つの理由

その3

子育てに活用できて、すぐに子どもの変化がみられるヒントがたくさんある。

家庭で 子どもへの関わり方を変えるだけで 変化が見える

フィンランドの学校や、子育てには共通しているポイントがあります。
子どもへの関わり方、言葉がけを変えるだけで、子どもたちは劇的に変化していきます。

フィンランドも日本も子どもたちは同じです。

子どもたちに「親や周囲の大人がどう関わっているか」が違うだけです。

自主的に自発的に学び、自分に自信をつけさせる大人との関わりができれば、その後の人生の心の基礎ができます。

幸福度が高いフィンランドの人々は「自分の軸」を持つことを
子どものあるころから大切に育てているのです。



4 日本の現状と課題

これまでの日本の教育は 成績重視の学習で考える力が育たない

- 競争させる教育、子育てにより、
テストの成績が目的になってしまう。
- 答を覚える教育で自発的に学ぶことができない。
- 子育て、教育は「母親の仕事」であり、
孤独な子育てになっている。
- 核家族化により、家族以外の大人との関わりが少なくなっている。
- 身近にテレビ、ゲームなど受け身でひとり遊びできるツールが増え、
反対に外で遊べる環境が少なくなっている。



日本の先を行くフィンランド教育

日本も2020年から知識重視型、個人学習型教育からグループ学習、伝達力、対話力を身に着ける授業が行われます。

それにともない、大学入試制度も変わるので、現在の学習塾では

「見えない学力＝発想力、伝達力、協同力」

などを育成する必要があります。



大学入試に求められる力は？

①面接重視

フィンランド式教育では
自己評価、他者評価、
セルフマネジメント力を
育成します。

大学入試に求められる力は？

②人物重視

フィンランド式教育では
人間力の基礎をつくります。

忍耐力、やる気、公平性

ポジティブなところ

他者理解、チャレンジ精神など

大学入試に求められる力は？

③プレゼンテーション力

フィンランド式教育では

3、4年生の授業で育成しています。

対話力、プレゼン力、グループ学習力

他者理解力などコミュニケーション力育成

対象：小学3年生 わくわくキッズ起業塾

- フィンランドの小学校での指導方法や考え方を取り入れています。
得られる効果：自主性、自発性、自己肯定感
- 日本の教育に求められる学校では教えていないカリキュラムを提供します。実際にフィンランドで行われている授業内容です。
得られる能力：読解力、コミュニケーション力、発想力
- 学校や家庭では出し切れていない一人ひとりの子どもの個性や強みに注目し、生きる力の基礎となる自信につなげます。



5 フィンランド式子育てレッスン 3つのポイント

フィンランド式子育てレッスン 3つのポイント

- 1 子どもを上からでなく
1人の大人としてとらえる。



子どもを大人としてとらえる

子どもは言葉の表現を知らないだけです。
大人が考えていることや感じていることを子どもはわかっています。でも言葉で表現することができないから、深層心理にため込んでしまうのです。

何か伝えたいとき、子どもに何かして欲しいとき（例えば早く宿題をしてほしいとき）など、言葉と時間を使って子どものレベルに合わせてわかりやすいように説明します。

フィンランドでは、学校の先生も親たちも、そのように子どもたちに関わっています。

フィンランド式子育てレッスン 3つのポイント

- 2 叱るとき、ルールを守らせるときは
子どもにわかるように
ていねいに理由を説明する



叱るときは理由を説明する

ダメなものはダメ！では子どもは納得できません。

しかも大人が感情的になって叱ることは
子どもの深層心理にネガティブな感覚を残し、
将来的に自己肯定感を低くしてしまったり、
問題行動につながってしまうのです。

感情的に叱ることがあったとしても
あとで冷静になってから時間をとって
丁寧にその理由を説明します。

フィンランド式子育てレッスン 3つのポイント

3 子どものいいところ = 強みを伸ばす



子どもの強みを伸ばす

子どもは褒めて育てることがいいと言われていますが、フィンランドでは褒める、ということに注目していないようです。褒めてばかりいると、褒められないと、やらない子どもになります。大人になるにつれ、ほめられることはなくなっていくます。自分自身で学んだり、向上心を持って挑戦していくためには自発的にがんばれる力を身に着けることが大切です。自主的に勉強したり、片付けやお手伝いをしてもらうためには褒める、のではなく、できていることを「今日は宿題ができたのね」と認め、それを言葉に出してください。そしてママ自身の気持ちを伝えてください。「ママはとっても嬉しいなあ」と少しおおげさなくらいに表現してみるといいでしょう。ママ自身の気持ちに注目する習慣をつけてみてください。



6 子どもの自立を促す 5 つの魔法の言葉

日々、お子さんに対してどんな言葉を使っていますか？

まずは、書きだしてみましよう。

お子さんに聞いてみるとわかります。

「ママはいつも〇〇ちゃんに何て言ってるかなあ？」

①

②

③

子どもが変わる言葉がけ

日ごろの言葉がけや関わりを変えるだけで子どもたちは変わります。

ふだん、ママが子どもに使っている言葉が子どもの心の無意識に残っていきます。

フィンランドでは常に子どもに問いかけ、子どもたちが自分で考え、選びとれるような子育てをしているのです。

その中でも特に大切な5つの言葉を特別にお知らせします。

勇気を出して、この5つの言葉を子どもにかけてみてください。

フィンランド式子どもたちの自立を促す 5つの魔法の言葉レッスン

その1

Kitos ! = ありがとう



フィンランドでは子どもにも 積極的にありがとうを言う

一緒に出かけたとき、電車やバスの中でおとなしくしていたら
子どもにどのように言いますか？

「今日は静かにできたわね。えらいわね～」

もしや、ご褒美にお菓子などをあげていませんか？

この行動は危険です。

なぜなら、褒められないとやらない子どもになるからです。

まずは、なぜバスや電車の中で、静かにしなくてはならないのかを
子どもにわかるように伝えてください。

そして、それができたのならこのように伝えてください。

「静かにしてくれたのね。ありがとう。ママ、嬉しいわ～(^^♪」

フィンランド式子どもたちの自立を促す 5つの魔法の言葉レッスン

その2

Miksi ? = なぜ ?



Miksi ? =なぜ ?

フィンランドで先生や親が一番使う言葉です

どうしてなのかなあ ?

〇〇くんはどう思う ?

学校の先生も、パパやママたちも
子どもたちによく質問します。

目的や理由を考える習慣がつくのです。

たとえば、なぜ片付けなくてはならないのか、
なぜ、悪いことをしてしまったのか、理由を聞き、
子どもに考えさせています。

フィンランド式子どもたちの自立を促す 5つの魔法の言葉レッスン

その3

いつ宿題するのか教えてね。



宿題しなさい！は禁句です

宿題をなかなかしないとき、イライラして、つい「早く宿題しなさい」とか「先に宿題をしてから遊びなさい！と言ってしまうがちです。しかもそういうときはつい、感情的になってしまうでしょう。子どもは、宿題をしなくてはいけないということをわかっています。でも、それを先に言われてしまうと、悔しいから反発してやらなくなるのです。

そもそも、親が言うから勉強や宿題をする子どもは将来的に心配です。やがて、言われなくても自発的に行動できないと自分の課題を解決できない人間になってしまいます。

少し距離をおいて、宿題をヤル気になるような問いかけをしてみると自分で考えて行動を起こすきっかけになります。

フィンランド式子どもの自立を促す 5つの魔法の言葉レッスン

その4

お手伝いしてくれると
ママは助かる～！



子どもたちは ママが喜ぶことが大好きです

子どもはママが喜んでくれたり、自分自身が役に立っているということがわかると素直にやってくれます。

嬉しいこと、楽しいことなどポジティブな感情を子どもに対して積極的に言葉で伝えてみてください。

他の子と比べたり、ネガティブな言葉がけで子どもを動かそうとしても逆効果なのです。

北風で動かすのではなく、太陽のような言葉をかけると子どもは嬉しくなってどんどん行動するようになります。

特に、やってほしいことを子どもがしてくれたときは、チャンスです。気まぐれでなく、習慣化するためにも「お手伝いしてくれて助かるわあ」など大げさなくらいに、伝えてみてください。

フィンランド式子どもの自立を促す 5つの魔法の言葉レッスン

その5

ママはこう思うけど
あなたはどうする？



子どもにどうやるかを決めさせる 問いかけをしましょう

たとえば、「こういうやり方とこういうやり方があるけど、どうする？」
「ママは、こうしたらうまくいったけど、〇〇くんはどうしたらいいと
思う？」と質問することによって、子どもは自分で「こうする」と
決めることができます。

子どもがどうすればいいのか、わかりやすく答を出してあげてもいいし、
いくつか選択肢を提案して、「どれにする？」と尋ねてみるでもいいでしょ
う。大切なのは、子どもが「こうする！」自主的に答を選ぶことです。女
の子のほうが、自主性が育ちやすいので、ああしなさい、こうしなさい、
ということに反発します。

この問いをしていくことにより、自主性ややる気、集中力が磨かれます。



7

さいごに...感謝をこめて

子どもたちも、ママたちも

幸福度が高いフィンランドの人たちのように
ハッピーに生きる資格があります。



時代とともに教育も進化

親の世代、わたしたちの世代、次世代、21世紀型、と教育は社会的背景の影響を受けます。それはフィンランドも同じです。

ものがない時代は有無を言わず一生懸命仕事をして、自分の意見を持つことは求められませんでした。

でも、ものがあふれた今は、新しいものを生み出すために価値観の違う人たちと対話し、協同する力が求められます。

人口減少が激しくなるこれからは、今までになく、グローバルな視点を求められる時代なのです。

フィンランドは予算の多くを投じ真剣に、未来の子どもたちが自立し、幸せに生きるために国全体で教育改革をし続けています。

何歩も先を行くフィンランドの教育、子育てにヒントを得ながら日本の未来を創る子どもたちをサポートしていきたいと思います。

最後までお読みくださり ありがとうございます

未来を創る日本の子どもたちが
フィンランドのように、
人と関わりながら学ぶことを楽しみ、
答を覚えるだけでなく、自分で考える習慣を身に付けてほしい。
自分の強みを活かし、対人コミュニケーション力を身に付けながら
たとえ思い通りにいかないことがあっても
生きることを楽しめるようになってほしいと
心から願います。

フィンランド エデュケーション協会

代表 水橋 史希子

